

時代は若くて意欲ある人を求めています。

35歳の柏野君が再度市議会に挑戦する。心から拍手を送りたい。

私も柏野君も2007年に議会に送っていただき、議会改革の一環として議会報告会を開催。柏野君は新人とは思えぬ、綿密な調査力とそのさわやかな弁舌で議会に新しい風を送り、恵庭に大型新人柏野ありといわれた。その後、道議選に出馬するなど、紆余曲折があったが、その経験が彼を一回りも二回りも、大きく成長させた。

これまでの市議会をみると、本来合議性であるべきが、党派にしばられ、市民生活に直結した請願や陳情などが、市民目線で議論されず不採択となるケースも多い。

今こそ、柏野大介君の強くたくましい力と行動力で、「市議会に希望の光」を送り、多様な市民の声が反映される議会に再生してもらいたい。



かしわの大介後援会会長 林 嘉男

会員募集中

かしわの大介後援会は、かしわの大介を後援することによって、北海道・恵庭市の発展と市民福祉の向上を図り、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的としています。

入会希望の方は、右記までご連絡をいただくか、申込用紙にご記入の上、FAXにて送信ください。

■略歴

- ・1979年（昭和54年）生まれ 35歳
- ・恵庭市立恵庭小学校卒業
- ・恵庭市立恵明中学校卒業
- ・北海道札幌南高等学校卒業
- ・中央大学法学部政治学科卒業
- ・民間企業勤務
- ・2007年4月恵庭市議会議員選挙最年少当選
- ・2009年12月北海道議会議員補欠選挙落選
- ・2011年4月北海道議会議員選挙落選

■趣味 旅行（北欧、東欧、旧ソ連諸国、北米、中米、アジアなど約2年間で60カ国）、スノーボード

■免許・資格 行政書士

■家族構成 妻、長男（2歳）

■好きな言葉 世界の変化を望むのであれば自分自身が変化を起こさなくてはならない（ガンジー）



■かしわの大介後援会事務所

恵庭市住吉町2丁目2-14

TEL.FAX：39-5333

メールアドレス：dkashiwano@gmail.com

ウェブサイト：<http://kashiwano.info>

かしわの大介

検索

35歳、再び市政へ

元恵庭市議会議員

無所属

かしわの大介

後援会討議資料

かしわの大介後援会入会案内

理念

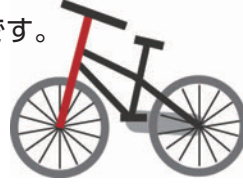
■市民自治を進め、時代を先取りする希望のまちをめざします
■ひとりひとりの可能性と個性が生きる、居場所と出番のある元気なまちをめざします



かしわの大介は約束します

■子育て・教育予算の拡充をはかります

子どもの可能性を伸ばす公教育の役割が大切です。子どもたちがさまざまな経験ができる遊び、学びの場の拡充をめざします。



■ごみの値上げに反対します

市民の努力により、ごみが減量されたにも関わらず、ごみの値上げが検討されています。

新施設が稼働するまでの間、値上げの必要はありません。

■高齢者が活躍できるまちづくりを目指します

人口減少の中で、さまざまな世代がつながり、安心できる地域づくりを進めます。

■動きが見える議会をつくります

議会報告会、議会レポートの定期的な発行（これまで14号発行）など、市議会議員時代には欠かさず行ってきました。

※政策の詳細についてはブログなどをご覧ください

なぜ再び市政をめざすのか

2009年に市議を辞職するまでの3年弱の間、超党派の議員による議会報告会の開催や、市長が提案した議案に対する修正案の議員提案、事業仕分けの実施や、街頭での定期的な議会報告など、これまで実施されてこなかったことにひとつひとつ取り組んでいました。こうした取り組みをさらに広げていくためには、同じ志を持つ仲間を増やしていくことが必要で、道議選に挑戦をするということは、その仲間を増やすための早道だと考えていました。しかし、結果的には私の力が足りず、2度の落選を経験しました。

その後の4年間、私は外から行政や議会を見ていましたが、過去に取り組んだことは途切れ、市長と議会の関係も旧来の緊張感のない状態に戻ったように見えます。

人口はいよいよピークを迎え、これまで経験したことのない時代を迎えます。地域が特色あるまちづくりを進めるためには、市民の多様な声を反映することが必要です。私は、市民と直接向き合い、ともに政策(条例)を作ることを通じて、合議制である議会のあるべき姿を実現し、恵庭のまちの未来を市民とともに作る役割に全力を注ぐ覚悟で、再度の挑戦を決意しました。



かしわの大介後援会 入会申込書

FAX 39-5333

FAXでもお申し込みいただけます。

ふりがな		電話	
お名前		メールアドレス	
ご住所	〒	ご紹介者	様
ご家族		ご家族	
ご家族		ご家族	